

令和4年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22043	事業名	健康都市大学創設・運営事業		評価分類	A1
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					担当部署
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実		予算科目	会計	01:一般会計	
	基本施策	01:健康づくりの推進と地域医療の充実			款	04:衛生費	
	施策の方向	01:「健康都市」の推進			項	01:保健衛生費	
重点プロジェクト	01:「健都さぶり+」プロジェクト		目		01:保健衛生総務費		
事業期間	R 4 年度 ~ R - 年度	主な根拠法令等		-		部	健康福祉部
課							健康政策課 健康都市推進G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、すべての市民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会にするためには、健康都市政策や免疫力向上、コミュニティの強化などを体系的に図ることで、『真の健康都市』の実現につなげなければならない。	亀山市在住若しくは在勤者・在学者(年齢不問)	『緑の健都かめやま』の実現に向けて、市民の主体的な健康づくりや健康都市の考え方の浸透を図る。	年度単位で学期を設定し、健康都市政策に関する講座を開講する「(仮称)健康都市大学」を創設することで、気軽に健康増進が図れる環境を整備する。 また、講座修了者を「(仮称)健都サポーター」と位置付け、健康都市の考え方の浸透・啓発・周知を図るために活用するなど、市民による主体的な取組を推進する。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○先進地視察 ○事業イメージの見える化 ○既存講座の調査・関連性の整理	○開校・各種講座の周知 ○開校式 ○各種講座の実施 ○修了式	○各種講座の周知・実施 ○修了式 ○(仮称)健都サポーターの活用	○各種講座の周知・実施 ○修了式 ○(仮称)健都サポーターの活用	
	活動実績 (計画通り実施できたか)	「かめやま健康都市大学」の令和5年度創設に向け、先進地視察による調査研究、創設式(イベント)の立案、開講講座の講師依頼、大学のコース設定等の方向性を決定したことで事業イメージが見える化することができた。また、併せて既存講座についても調査を行った。				
計画額	事業費	800千円	701千円	6,000千円	5,800千円	5,800千円
		国・県支出金				
		地方債				
		その他		3,000千円	3,000千円	3,000千円
	一般財源	800千円	701千円	3,000千円	2,800千円	2,800千円
決算額	事業費		412千円			
		国・県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源		412千円				
①期間内事業費(R4-7)		18,400千円	②期間外事業費(R8-)	-	①+②総事業費	-

(令和4年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	701千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 各種講座の実施回数	(仮称)健康都市大学で開催した各種講座の年間実施回数	活動	講座	計画値	0	12	16	16
				実績値	0			
(仮称)健都サポーターの育成人数	(仮称)健康都市大学で開催した各種講座を受講し、一連の講座を修了した者((仮称)健都サポーター)の人数(累計)	成果	人	計画値	0	50	100	150
				実績値	0			
(仮称)健都サポーターの活用回数	(仮称)健都サポーターが、地域まちづくり協議会等と連携し、健康都市の考え方の浸透・啓発・周知を図る活動を行った回数(累計)	活動	回	計画値	0	0	10	20
				実績値	0			

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
A	ヘルスリテラシーの取組をはじめ、先進的な健康づくりに関する事業に取り組み始めている自治体等(8市・1事業所)への視察を行い、取組の経緯・現状・課題などの調査を行った。調査内容を精査し、本市の進める健康都市大学の実施内容の検討に活用し、事業の枠組みを整理することができた。また、健康・食・運動・健康都市の4つのカテゴリーでの講座実施に向けて、講師確保にもめどを立てることができた。
十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
亀山市在住若しくは在勤者・在学者(年齢不問)	『緑の健都かめやま』の実現に向けて、市民の主体的な健康づくりや健康都市の考え方の浸透を図る。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	10月の創設に向けて、講座の詳細調整や、創設イベントを含めた周知などの細部の調整、健康都市大学の修了生の活用についての検討を年度当初に進める必要がある。また、市の各種講座との関係については、短期的には健康に関するものを中心に連携講座として位置付けを行う方向だが、長期的には市の学習機能の一つとして、本事業の位置付けの検討・調整を進める必要がある。

⑦ 事業の展開 (A)	方向性				
	継続(拡大) 施策の更なる推進に向け、事業の拡大・充実を図る。				
	改善・見直し内容				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和5年度で対応する(した)もの</th> <th>令和6年度以降で対応するもの</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かめやま健康都市大学で実施する健康・食・運動・健康都市の4分野の講座を計画・実施するとともに、令和5年10月の「かめやま健康都市大学」の創設に合わせたイベントや周知を実施する。また、並行して修了生の活用方法についても検討し、次年度以降での活用につなげる。</td> <td>毎年度テーマを持った健康都市大学の講座運営を行いつつ、市の実施する各種講座等を含めた全体的な学びの支援の中の本事業の位置付けや他の事業との連携の在り方について検討を進める。</td> </tr> </tbody> </table>	令和5年度で対応する(した)もの	令和6年度以降で対応するもの	かめやま健康都市大学で実施する健康・食・運動・健康都市の4分野の講座を計画・実施するとともに、令和5年10月の「かめやま健康都市大学」の創設に合わせたイベントや周知を実施する。また、並行して修了生の活用方法についても検討し、次年度以降での活用につなげる。	毎年度テーマを持った健康都市大学の講座運営を行いつつ、市の実施する各種講座等を含めた全体的な学びの支援の中の本事業の位置付けや他の事業との連携の在り方について検討を進める。
令和5年度で対応する(した)もの	令和6年度以降で対応するもの				
かめやま健康都市大学で実施する健康・食・運動・健康都市の4分野の講座を計画・実施するとともに、令和5年10月の「かめやま健康都市大学」の創設に合わせたイベントや周知を実施する。また、並行して修了生の活用方法についても検討し、次年度以降での活用につなげる。	毎年度テーマを持った健康都市大学の講座運営を行いつつ、市の実施する各種講座等を含めた全体的な学びの支援の中の本事業の位置付けや他の事業との連携の在り方について検討を進める。				

【履歴】	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A			
事業展開	継続(拡大)			

1次評価者	健康福祉部 健康政策課 健康都市推進GL 櫻井こころ
最終評価者	健康福祉部 健康政策課 課長 林 秀臣